

④ 事業実施による環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備事業の実施により、重視すべき機能（水源涵養等）の区分に応じた良好な森林が形成されつつある。 ・路網整備事業の実施により、森林整備施業地までの到達時間の短縮、作業コストの縮減等が図られるようになった。 ・周囲の森林と調和した適切な森林施業は自然景観を保持し、森林資源の充実を図っている。
⑤ 社会経済情勢の変化	<p>本森林計画区における人口は減少しており、林業就業者数も年々減少している傾向にある。こうした状況の中、林業では、高性能林業機械を含む機械作業システムの導入が促進されており、森林施業に資する林道、林業専業道及び森林作業道の有機的な連結により効果的な森林施業が展開されており、間伐等の推進が期待されている。また、利用期を迎える人工林から生産される丸太の新たな販路として、合板用原料として本州へ向けた移出等、需要の拡大に向けた取組が進められている。</p>
⑥ 今後の課題等	<p>アカマツ、カラマツを中心とした木材を安定的に供給するために、効率的かつ効果的な森林整備及びその実施に必要な路網整備を行う。</p> <p>また再造林においては、伐採作業と造林作業の連携を図る一貫作業システムを導入し、植栽にはコンテナ苗を使用するとして低コスト化に向けた現地検討会を県職員や市職員、地元森林組合等を対象として実施してきたところであるが、引き続き現地検討会等を開催するなど、民有林での低コスト化が図られるように取組必要がある。</p>
森林管理局事業評価技術検討会の意見	<p>本事業の実施により、水源涵養等の森林の持つ公益的機能の維持増進が図られ、事業の効果が発揮されていると認められる。</p> <p>今後も、現地の状況と事業の評価を踏まえ、引き続き森林整備や路網の維持管理を適切に実施するとともに、事業を通して地域に貢献していくことが望ましい。</p>
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性 地球温暖化防止対策や国土保全及び水源涵養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給に関する地域の要請に応えるため、本事業の実施が必要である。 ・効率性 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 ・有効性 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能を十分発揮させる有効な事業と認められる。

様式1

便 益 集 計 表
(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業
施行箇所：青森森林管理署金木支署

都道府県名：青森
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	2,761,810	
	流域貯水便益	785,756	
	水質浄化便益	1,746,288	
山地保全便益	土砂流出防止便益	4,007,606	
環境保全便益	炭素固定便益	954,090	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	1,362,450	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	864,094	
総 便 益 (B)		12,482,094	
総 費 用 (C)		3,074,069	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{12,482,094}{3,074,069} = 4.06$		

森林環境保全整備事業 津軽計画(青森県) 事業概要図

地区位置図



津軽森林管理署金木支署

津軽森林計画区

